

【伊野開催 A 班】いの町の未来を考える会 参加者の考え(2023.10.12開催)

テーマ1 10年後のまちと私のありたい姿

【全般】

- ・医療・介護連携協力
- ・この町で生涯住みたいと思える町
- ・その町にしかない文化を大切にしている町
- ・文化がまるっきり保存されていたらいい(文化の継承)
- ・“今”と変わらない(人間性とか祭り(行事)営みとか)
- ・良いサウナ温泉施設がふえている
- ・写真館とかほしいかも・・・！！(記録に残されてたら嬉しいよね。被災のことも考えて！)
- ・誰に対してもやさしい町
- ・JRやとさでんの維持と便数の確保
- ・交通インフラの改善(電車の本数とかもそう)
- ・山間地区の方の移動手段
- ・仁淀川が今よりきれいになっている
- ・自然を大切にしている町
- ・健康でいたい
- ・仁淀川決壊や地震に対して十分な対策ができている

【交流するまち】

- ・子どもと高齢者の関わり
- ・近所の方と見える関係性
- ・色々なコミュニティ同士がつながりをもっている
- ・学校と地域が密接になってたら(小学校のときに読み聞かせがあったけどそれって地域の人のやさしさだよな)
- ・みんなで飲めるお店がほしい

【働き続けられるまち】

- ・働く場所がある、若い人が定住する
- ・町内から仕事に行けて、仕事も定時でおわって、できた時間を家族や趣味の時間にあてたい

【住みやすいまち】

- ・高齢者が安心して外出できる
- ・困りごとを相談できるところ
- ・子どもが遊べる公園
- ・近くに商店があって便利、商店街に活気がある
- ・買い物ができる場所があればいいな

【伊野開催 A 班】いの町の未来を考える会 参加者の考え(2023.10.12開催)

テーマ2 10年後のありたい姿への道すじ

【地域振興】

- ・現在の自然を残しつつ、商業施設を増やしていく、波川公園遊び場の拡大
- ・仁淀川をもっと PR して、キフを集めて活用する
- ・古民家売買(レンタル、田舎だからこそ地下 ☺、働くところをつくる)
- ・レンタルスペース=古民家(レンタルにしても個展とかつくれそう)
- ・防災マップとか⇒地域特性(避難所運営)
- ・いの町内バス(フリーにいの町内で乗り降りあるのあったら楽、合乗りみたいな感じ、個人の負担でかいかな?)
- ・デジタル化(古い者とかをデジタル化して写真に残してみる、誰でもみれる)
- ・伊野駅に何か誘致
- ・商店街の道の改良
- ・商店街のお店に駐車場をつくる
- ・お店のよさをアピールしよう
- ・Amazon を使わない、地元を使う
- ・町内でできる限り買い物をしよう
- ・JR・電車利用者を増やすため、専門学校を誘致する
- ・電車をみんなで利用する
- ・可能な限り公共交通を使う
- ・なの花祭り再開
- ・行政とスーパーの連携

【住民福祉】

- ・いの町まつりで SOS 発信
- ・いの町まつりで関わる必要がある人の選定
- ・病院・介護行政で話し合いの場
- ・障害者雇用に強い町づくり

【交流】

- ・近隣の家の方とのあいさつからコミュニケーションを増やしていく
- ・まずあいさつしよう

【伊野開催 A 班】いの町の未来を考える会 参加者の考え(2023.10.12開催)

テーマ3 10年後に向けた私たちのアクション

- ・地域の人が互いにコミュニケーションができる行事づくり
- ・有名人などを呼び、イベントを行う
- ・高齢者と若者との交流
- ・あいさつ!!!大声!!!!
- ・古民家売買やるならシステムづくりにかかわりたいと思うね
- ・空き家を活用した障害者雇用の手伝い
- ・宣伝とか(インターネットを活用したらいけるよね、仁淀川のPRとかもそう!!)
- ・地産地消(商店街とかの活用、これは手軽!!)
- ・物事への参加+ボランティアとか(まちのコインとかでつのればたくさんできそうだよね)
- ・防災関連(企画立案、立ち上げとか楽しそう)
- ・被災時の要救助者まとめ(消防団)
- ・自然を守るための環境教育
- ・いの町に愛着をもってもらえる様な教育環境整備
- ・空きの内活用、送迎⇒見守り(高齢者働く場)皆で作る・売る
- ・地域高齢者の運動提供(フレイルサポーター)
- ・すこやかセンター行政との連携
- ・特色ある学校を誘致する
- ・人口減少対策、助成

【伊野開催 B 班】いの町の未来を考える会 参加者の考え(2023.10.12開催)

テーマ1 10年後のまちと私のありたい姿

【全般】

- ・生活環境を変えずに住み続けることができるまち(特に山間部)
- ・みんなが先生、みんなが生徒のまち(イロイロ教える)
- ・路面電車がちゃんと運行する町
- ・環境型社会(例えば SDGS、食品ロス、エコ通勤、リユース、長く使えるものを使う)
- ・いのらぶ(誰もがいのの漉を発見や発信ができる、地域通貨でポイントを還元)
- ・自然と共生しているまち(大好きな川山を大切に！)
- ・仁淀川でカイトキにあそべる町
- ・子どもが自然にふれあえる場所が多い町
- ・チャレンジがしやすいまち(たのしいこと、助け合いが増！)
- ・自分が楽しめる事のある場所
- ・子どもが帰ってこれる町
- ・歴史的建造物にふれあえる町
- ・このまちならではの遊びがあるまち(都会と違う魅力を見がきたい)
- ・子どもが参加できるイベント、ワークショップ体験の多い町

【交流するまち】

- ・できる人ができるときにできることで助け合うまち(人が減っていくので)
 - ・防災に強い町(災害時みんなで協力したいね)
 - ・つなぐ人がたくさんいるまち(町会長の素晴らしさ)
- 住民のつながりを感じる町(高齢者、障害者、こども)つながり方がわからん
- ・コミュニティを大切にしているまち(ご近所同士、高齢者が楽しく過ごせる環境)
 - ・シェア住宅、個人の賃貸、シェアオフィス、託児、保護猫との共生、賃貸

【働き続けられるまち】

- ・子育てしやすいまち(働きながらでも、いろんなサポートにより子育てができたらいいな、これからの子育て世代に向けて、遊び場+自然)

【住みやすいまち】

- ・スマートシティ、健康相談を保健師さんに Web で
- ・高齢者にやさしい町(介護相談、買い物難民にならない、困っていることの発見⇒民生委員だけでなく)
- ・病院のある町、小児科のある町

【伊野開催 B 班】いの町の未来を考える会 参加者の考え(2023.10.12開催)

テーマ2 10年後のありたい姿への道すじ

【地域振興】

- ・波川公園キャンプサイト整備(ゴミ箱有料)
- ・リサイクル BOX(粗大ゴミは持って帰ってよい)
- ・リユースボックス(使わない人⇒使う人)
- ・粗大ゴミ処理有料化
- ・歴史的住宅を借家に
- ・古い建物をほめて、めでて、継承してもらう
- ・自然を守り遊びを学べる場
- ・地域通貨ポイント(人⇄町)

【住民福祉】

- ・ホームホスピス
- ・町支援コーディネーター増やす、ボランティアコーディネーター増やす
- ・地域の困り事(個々の⇒発信できるシステム)
- ・ボランティア登録

【交流】

- ・シェア住宅、昔の長屋でコミュニケーション
- ・人とのつながり
- ・ツナギスト
- ・おせっかい焼き養成ワークショップ
- ・つなぐ人を増やす講座(人と人、ボランティアと人、自然と人)
- ・人をつなぐコーディネーターやセンターを立ち上げる
- ・みんなが先生、できることを提供のために、できる「何かやりたい」という人たちが集うクラブをつくる(ならしのクリエイターズクラブ)
- ・スポーツゴミ拾い

【伊野開催 B 班】いの町の未来を考える会 参加者の考え(2023.10.12開催)

テーマ3 10年後に向けた私たちのアクション

- ・コーディネーター講座→生涯学習課にきく
- ・ツナギストを増やす講座の企画運営に携わりたい！
- ・ボランティアコーディネーター
- ・日々、自分がつなげることをしていく
- ・つなぐサポート
- ・自分の楽しみを見つけよう！（いの町で！）
- ・高齢者をほっとけない(話し相手)
- ・介護相談(介護の仕方、認知症の対応)
- ・小学生、中学生へ高齢者の特徴や認知症対応を話す
- ・地区内のつながりづくりに、地区の一員として協力できる
- ・防災組織イベントへの参加
- ・子ども向けサイエンス教室の開催
- ・お父さん料理会
- ・情報発信→総合政策課にきく
- ・いの町産業遺跡発掘
- ・リサイクル→環境課にきく
- ・ごみ処理や再利用の仕組みづくり、見直しに参加したい
- ・シェア住宅→教育委員会にきく
- ・「何かやりたい」の自分の得意分野があれば参加していきたい
- ・できる「何かやりたい人」のクラブ立ち上げに参画！何人かでやれるといいな
- ・自然を守る遊び、学べる場を子ども会などでできないか相談